



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1997, 69(2):
299-301

ISSUE DATE:

1997-11-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96170>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成9年11月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第69巻 第2号

ISSN 0525-2997

vol.69 no.2

物性研究

1997 / 11

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率約86%)
 - 2) マージンは、上下各約3 cm、左右各約2.5 cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

掲 示 板

「修士論文」募集

例年、本誌では、各大学の物性分野の修士課程修了者の研究内容を紹介しています。本年も1997年度の修士論文を募集します。学術的に価値の高いもの、研究内容がユニークで面白いもののほか、研究は完成していないが今後に興味ある問題提起を含むものや、Review 的な力作など、特色のある修士論文を投稿して下さい。

1. 募集締切：1998年3月31日（火） [締切厳守]
2. 自薦、他薦は問いません。また、教室の推薦を歓迎します。
3. 論文のコピーを2部 お送り下さい。
4. 4月以降の連絡先を明記して下さい。

紙数の許す限り掲載したいと思いますが、掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。昨年場合は、判断基準として、論文の内容および分野間のバランス等を考慮しました。尚、掲載が決定した論文については、次のような対応を取らせていただきます。

1. 原則として、英文の修士論文は日本語に訳していただきます。
2. 枚数の多いものは、簡潔な内容に縮めていただく場合や、写真印刷の都合上、体裁を整えていただく場合があります。
3. 掲載された論文の著者には別刷50部を寄贈します。

「講義ノート」募集

本誌では、大学院特別講義の「講義ノート」を随時、受け付けています。これまで一部の大学に限られていましたが、卒を広げ全国の大学で行われる、物性関係の興味ある講義のノートを掲載したいと思います。つきましては、関係各位の方々に講義ノートの作成について御尽力をお願いします。

通常、大学院生にノートをとっていただき、講師のチェックの後、掲載しています。講師には別刷50部を寄贈し、ノート作成者には薄謝と別刷20部程度を差し上げています。講師の了解などはこちらで交渉致します。また、退官記念講演なども、歓迎します。記録の可能性と内容を考慮して、推薦もしくは投稿下さるようお願いいたします。

科研費基盤研究(企画調査)報告書の転載について

「物性研究」では、科研費基盤研究(企画調査)の報告書を本誌に転載したいと思えます。研究成果報告として、立派な報告書が作成されても、限られた部数が関係者のみに配布される状況では、誰もが手軽に見ることが出来ません。また、そういった形の報告書は四散して失われる危険も大きく、本誌のような定期刊行物に掲載されれば、公開、保存のいずれにおいても意味があります。つきましては、ご投稿あるいはご推薦下さいますようお願いいたします。

転載を希望される部分を明示の上、既に印刷済みの報告書2部をお送り下さい。別刷を希望の場合は、ご注文下さい。詳細は下記までお問い合わせ下さい。

[問合せ&送付先]

〒606-01 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物 性 研 究 刊 行 会

Tel: (075)753-7051, 722-3540

Fax: (075)722-6339

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

編集後記

神戸大学で開かれた秋の分科会のプログラムに「物性分科会の変更案（その2）」が提示され、御覧になった方も多いと思います。いよいよ、物性分科会の再編が本格的に始まるようです。

確かに、現状では

- ・大分科におけるプログラム編成の困難
- ・分科分類の古さ
- ・会場確保の困難

などの問題があり、改革の必要性は誰もが認めると思います。

今回の部会／キーワード制は、これらの問題に対する改革案として出されたものだと思います。確かに、部会名やキーワードを適当に選べば、分科の分類を学問の進展に応じたものにすることは可能かもしれません。（もちろん、誰が選ぶのかという大問題は残りますが。）

しかし、部会制に基づくプログラム編成例（＝部会の原案？）を見ると、「ん？私は一体どこで発表すればいいのだ？」と思われた方もいらっしゃると思いますし、分科ごとの講演数のばらつきがどうなるかは、今後の各分科／会員の動向にもよるわけです。

また、会場問題との関係も気になります。肥大化のため将来的に物性分科会がさらに分断し、開催会場が分散するようなことになれば、「あの分科はどの会場にいくんだ？」という事が問題になるのは目に見えてきます。

性急に意見をまとめ、結論をまとめるのは困難ですが、よりよい再編方法を模索するために、分科内の話し合いはもちろん、分科間の話し合いもあってしかるべきだと思います。

（T. M.）

物 性 研 究 第69巻第2号（平成9年11月号） 1997年11月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200円		

編集後記

神戸大学で開かれた秋の分科会のプログラムに「物性分科会の変更案（その2）」が提示され、御覧になった方も多いと思います。いよいよ、物性分科会の再編が本格的に始まるようです。

確かに、現状では

- ・大分科におけるプログラム編成の困難
- ・分科分類の古さ
- ・会場確保の困難

などの問題があり、改革の必要性は誰もが認めると思います。

今回の部会／キーワード制は、これらの問題に対する改革案として出されたものだと思います。確かに、部会名やキーワードを適当に選べば、分科の分類を学問の進展に応じたものにすることは可能かもしれません。（もちろん、誰が選ぶのかという大問題は残りますが。）

しかし、部会制に基づくプログラム編成例（＝部会の原案？）を見ると、「ん？私は一体どこで発表すればいいのだ？」と思われた方もいらっしゃると思いますし、分科ごとの講演数のばらつきがどうなるかは、今後の各分科／会員の動向にもよるわけです。

また、会場問題との関係も気になります。肥大化のため将来的に物性分科会がさらに分断し、開催会場が分散するようなことになれば、「あの分科はどの会場にいくんだ？」という事が問題になるのは目に見えてきます。

性急に意見をまとめ、結論をまとめるのは困難ですが、よりよい再編方法を模索するために、分科内の話し合いはもちろん、分科間の話し合いもあってしかるべきだと思います。

（T. M.）

物 性 研 究 第69巻第2号（平成9年11月号） 1997年11月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200円		

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類 (請求、見積、納品書) が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 69-2 (11月号) 目 次

○特別寄稿

「基礎物理学研究所の歴史」……………長岡 洋介、登谷 美穂子…… 191

「基礎物理学研究所の歴史・補遺」……………長岡 洋介…… 242

○ハルデンギャップ系磁性体の核磁気緩和 — 端スピンの効果 —

……………佐藤 修一、後藤 喬雄…… 246

○修士論文 (1996年度)

CTMRG による拡張イジングモデルの解析 ……………入江 崇…… 254

○掲示板…………… 299

○編集後記…………… 301

物 性 研 究 69-2 (11月号) 目 次

○特別寄稿

「基礎物理学研究所の歴史」……………長岡 洋介、登谷 美穂子…… 191

「基礎物理学研究所の歴史・補遺」……………長岡 洋介…… 242

○ハルデンギャップ系磁性体の核磁気緩和 — 端スピンの効果 —

……………佐藤 修一、後藤 喬雄…… 246

○修士論文 (1996年度)

CTMRG による拡張イジングモデルの解析 ……………入江 崇…… 254

○掲示板…………… 299

○編集後記…………… 301